

令和7年度事業報告書

1. 業績の概況

令和7年度の日本経済は、緩やかな回復基調を維持する一方で、少子高齢化の進展による労働力不足が一層顕著となり、高年齢者の就業機会の確保が社会的に重要な課題となっております。

このような状況の中、当センターにおいては、高年齢者の就業機会の提供と地域社会への貢献を目的として、会員の確保と就業機会の拡大に努めるとともに、安全・適正就業の徹底を図り、安定した事業運営に取り組んでまいりました。

令和7年度の事業実績は、会員数は836人（前年度比99.8%）とわずかに減少したものの、契約金額については請負・委任が346,055千円（前年度比102.5%）、派遣が123,231千円（前年度比113.5%）といずれも増加し、合計では469,286千円（前年度比105.2%）となりました。

特に派遣事業については、引き続き大きく伸長しており、企業における人手不足を背景に、就業形態が従来の請負中心から派遣へと移行している傾向がより一層顕著となっております。

また、契約割合については、公共事業が24.2%（前年度19.2%）と増加し、民間事業とのバランスに変化が見られました。

一方、受注件数は5,715件（前年度6,381件）と減少しているものの、配分金額は362,194千円（前年度比100.6%）とわずかに増加し、就業会員1人当たりの月平均金額も41,632円（前年度40,782円）と上昇しており、昨今の賃金上昇の影響がうかがえます。

しかしながら、就業率は86.7%（前年度87.8%）とやや低下しており、中長期計画目標である90%には依然として達していない状況にあります。就業実人員についても725人（前年度736人）と減少していることから、会員の確保とともに、より多くの会員に就業機会を提供する取り組みが今後の課題となっております。

以上のことから、令和7年度は、契約金額の増加、とりわけ派遣事業の拡大により事業規模は着実に成長しているものの、会員数の伸び悩みや就業率の低下といった課題も見受けられる結果となりました。

今後は、会員確保に向けた効果的な取り組みの強化とともに、就業機会のさらなる拡大、安全・適正就業の徹底を図り、持続的な事業運営に努めてまいります。

以下、令和7年度の事業実績を報告いたします。

（1）当期の主な事業実績

① 会 員 数 （ 正 会 員 ） 836人

＊前年度 838名、前年対比 99.8%

【中長期計画目標指数880人（達成率95%）】

② 契 約 金 額 （請負・委任） 346,055千円

＊前年度 337,560千円、前年対比 102.5%

【中長期計画目標指数360,000千円（達成率96.1%）】

（ 派 遣 ） 123,231千円

＊前年度 108,547千円、前年対比 113.5%

【中長期計画目標指数111,000千円（達成率111%）】

（請負・委任、派遣合計） 469,286千円

＊前年度 446,107千円、前年対比 105.2%

【中長期計画目標指数471,000千円（達成率99.6%）】

③ 契約割合（請負・委任、派遣合計） 公共事業 24.2%、民間事業 75.8%

＊前年度 公共事業 19.2%、民間事業 80.8%

④ 受注件数（請負・委任、派遣合計） 5,715件

＊前年度 6,381件

⑤ 配分金額（請負・委任、派遣合計） 362,194千円

就業会員1人当たりの月平均金額41,632円

＊前年度 360,186千円、前年対比 100.6%

＊前年度就業会員1人当たりの月平均金額 40,782円

⑥ 就業率（請負・委任、派遣合計） 86.7%

＊前年度 87.8%

【中長期計画目標指数90.0%】

⑦ 就業実人員（請負・委任、派遣合計） 725人

＊前年度 736人

（２）会員数拡大に向けた取り組み

① 会員1人1入会運動の推進

紹介報奨金制度を積極的に活用し、会員相互の協力による新規入会者の確保に努めました。・新規入会者数：5人

② 各地区行政センターでの出前入会説明会の開催

行政センターを会場とした入会説明会を巡回実施し、地域住民へ直接入会を呼びかけました。

・実施期間：7月～3月・会場：市内9行政センター・参加人数：39名

③ 行政センターだより等への広報展開

各地区の行政センターだよりの記事掲載やチラシ掲出を行い、地域に密着した周知活動を展開しました。

・実績：市内24施設への掲出、3行政センターだよりへの記事掲載

④ 新聞折込の実施

上毛新聞ほか主要新聞の朝刊へ「カレンダー付会員募集チラシ」の新聞折込を実施しました。

・実施日：令和8年1月18日 ・配達地域と部数：太田市全域20,000部

（３）就業機会拡大に向けた取り組み

① 未就業会員への就業相談会の実施

半年間就業機会のない会員を対象に就業相談会を実施しました。丁寧な傾聴を通じて未就業に関する不安や要望を的確に把握し、個々の希望に沿った仕事の再提案を行うことで、意欲の向上と具体的な就業促進を図りました。

② SMSを活用した求人情報の迅速な提供

スマートフォン等のSMS（ショートメッセージサービス）を活用し、最新の求人情報を会員へ即座に配信しました。情報伝達のスピードを上げることで、会員の応募機会の最大化に努めました。

③ 推進員による訪問営業と新規受注の確保

就業開拓推進員が企業等へ積極的な訪問営業を行い、新たな職域の開拓と受注確保に努めました。年間訪問実績：延べ592件

(4) 安全就業と適正就業に向けた取り組み

① 安全・適正就業委員による巡回指導等

作業現場の「安全パトロール（巡回指導）」と、事故検証・防止策について協議する「安全委員会」を実施しました。

- ・安全パトロール：12回
- ・安全・適正就業委員会：11回

② 「安全就業だより」の発行と「安全標語」の募集

「安全就業だより」を発行することで会員へ安全対策の取り組みや事故状況を提供し、さらに安全標語を募集して優秀作品を表彰する安全標語コンクールを実施することで安全就業意識を高めました。

- ・安全就業だより：年4回発行（7月、9月、1月、3月）
- ・安全標語最優秀賞：竹沢 重直会員
「気のゆるみ 此の位が 事故の元」

※安全標語応募数：42作品

新規入会者には「安全就業ハンドブック」で安全に対する意識付けを行いました。

- ・安全就業ハンドブック：新入会員141名（冊）へ配付

③ 適正就業ガイドラインに沿った業務運営

厚生労働省と全国シルバー人材センター事業協会がまとめた「適正就業ガイドライン」を会員と発注者へ配付し、適正な受注と就業を周知徹底しました。

(5) 普及啓発・社会参加活動の取り組み

① 会報なかまの発行

会報編集委員会の委員が中心となって「会報なかま」を編集・発行し、市内公共施設24箇所へ設置依頼し、センターの活動内容を周知しました。

- ・会報なかま：年4回発行（7月、9月、1月、3月）

② シルバーだよりの発行

「広報おおた」の特集記事として「シルバーだより」を制作・発行しました。センターの普及啓発を行うとともに、植木・除草作業の予約受付開始等の情報を市民へ周知しました。

- ・発行日：令和8年2月1日
- ・発行部数：62,700部

③ 広報おおたの活用

「広報おおた」を活用し、市民へセンターの最新情報を提供しました。近年の諸経費高騰等に伴う植木剪定・除草作業・表具等の料金改定について掲載し、周知と理解を求めました。

掲載3月15日号（シルバー人材センター料金改定のお知らせ）

④ ホームページの公開

インターネットによる情報発信は広報活動の主流であることから、センターホームページの内容を積極的に更新しました。

- ・年間アクセス数：51,431件

⑤ X（旧ツイッター）の公開

ホームページを補完するSNSとして公式アカウントを運用。センターにおけるタイムリーな事業活動を公開しました。

⑥ **社会貢献活動の実施**

普及啓発促進月間の活動として、「シルバーの日」に清掃ボランティアを実施しました。地域社会への貢献とともに、宣伝用ウェットティッシュの配布を通じて、センター活動の周知を図りました。

- ・実施日：10月18日（土）
- ・シルバー人材センター駐車場及び宝泉スポーツ広場周辺 参加者 92人

⑦ **宝泉ふれあい文化祭への出展**

宝泉ふれあい文化祭に出展し、地域住民へセンターの活動の普及啓発を行いました。シルバー会員の活動風景を収めたパネル展示やリーフレットの配付を通じて、活動への理解促進と交流を図りました。

- ・目的：センター活動の周知および地域住民との交流推進
- ・内容：活動写真のパネル展示、リーフレットの配付

⑧ **シルバーサロンの開催**

高齢者に有益な情報提供を行うとともに、会員同士の親睦・交流を目的として「シルバーサロン」を開催しました。生きがいづくりや社会参加を促進する場として、会員の資質向上とコミュニティの活性化を図りました。

- ・目的：生きがいづくり、社会参加の促進、会員間の情報共有等

⑨ **太田市高齢者支援サービス事業「ちよいとサポート事業」の受託**

高齢世帯の生活充実と困りごとを解決する「ちよいサポ」を受託しました。

- ・受託件数：2,892件（目標数3,000件）
- ・ちよいサポ隊会員数：96名

⑩ **太田市ごみ出し困難高齢者支援事業の受託**

一人暮らし高齢者に対し、安否確認を行いながらごみを戸別回収する事業を受託。

- ・受託件数：1,600件
- ・就業会員：40名

（6）会員の技能及び資質の向上に向けた取り組み

① **安全講習会の実施による事故防止の徹底**

当センターの機械整備専門職員を講師として、実務に即した安全講習会を実施しました。機械の正しい取り扱いやメンテナンス方法を直接指導することで、会員の安全意識を高め、就業中の事故未然防止と安全第一の作業環境づくりを徹底しました。

日 時：令和8年2月20日（金）～27日（金）全6回

場 所：太田市シルバー人材センター

参加者：32名

② **接遇講習会の実施によるサービス品質の向上**

発注者や地域住民の方々に対し、より丁寧で信頼される対応を行うため、接遇講習会を開催しました。挨拶や身だしなみ、コミュニケーションの基本を再確認し、センター全体のサービス品質と信頼性の向上を図りました。

日 時：令和8年1月21日

場 所：宝泉行政センター

参加者：57名

③ **スマホサポーター講習会の開催と技能取得**

デジタル化への対応として、会員がスマートフォンの操作を学び、教える技術を習得するための講習会を実施しました。これにより、新たな職域の開拓や会員同士のデジタル支援体制の強化を推進しました。

日 時：令和8年2月18日

場 所：太田市シルバー人材センター

参加者：4名

（7）組織運営体制の強化に向けた取り組み

① 組織の一本化による運営効率の向上

今年度は新体制の定着と安定した事業運営に努めました。組織の一本化による情報共有の円滑化や事務処理の効率向上を図るとともに、限られた人員の中で効率的な業務執行体制の構築に取り組み、経営基盤の強化と安定的なセンター運営を推進しました。

② 厚生会との連携強化と交流の推進

厚生会主催の新年会等、各種行事へ積極的に参加し、親睦と相互理解を深め、密接な連携・交流を通じて、円滑な事業推進に資する良好な関係を維持・発展させました。